

日本の四季 春と秋について

春や秋は気温もちょうどよく、過ごしやすいですが、天気はよく変わりますね。その原因を考えましょう。

典型的な春の天気図です。

どんな気団が影響しているか、考えてみましょう。

また、小さな複数の高気圧に注目します。

春の天気の特徴

- 2月下旬を過ぎると大陸が少しずつあたたまって、
() 気団) がおとろえます。



- 日本の上空には強い西寄りの風 () がふいている。
まれに中国大陸の砂漠の砂が () として日本まで飛んできます。
発達した揚子江気団の一部が離れ、 () となって日本付近を通過する

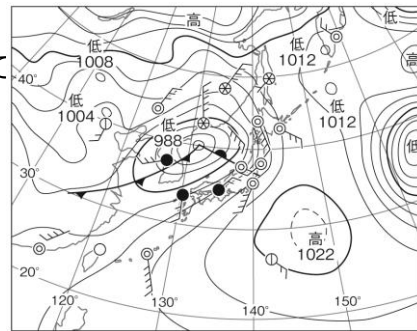
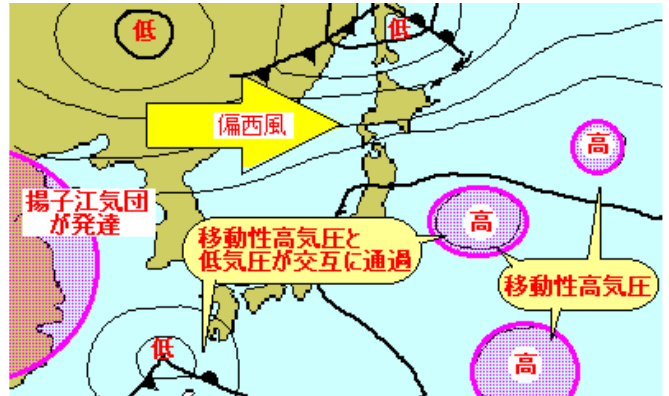


- 日本海では低気圧が発達しやすくなり、それに向かって () 寄りの強い風が吹きこんで気温が上がる。
右は () が吹いた時の天気図



- 偏西風に乗った移動性高気圧と低気圧が西から東へと交互に通過し、天気は周期的に変わる。

※参考…移動性高気圧や低気圧の移動距離は1日に約500~1000km



春ちゃん登場

梅雨の天気の特徴

- 6~7月には北の海では(低温・多湿)な () 気団) が発達してきます。
南の海の(高温・多湿)の () 気団) も姿をあらわし、寒気と暖気がぶつかります。



東西に停滞前線ができ発達する

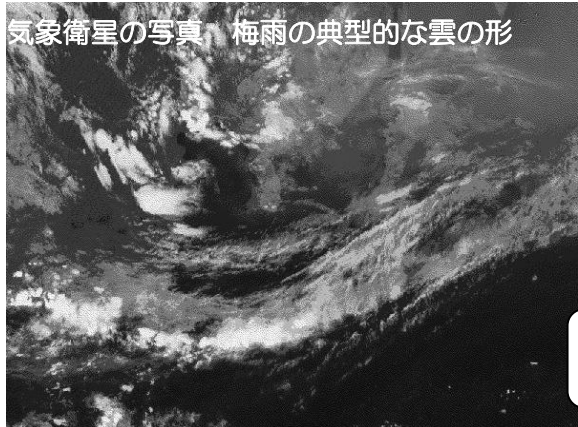
この時の前線を () 前線) という



- 停滞前線はそこに留まり、前線上に小さな低気圧ができるため、雨の多い、ぐずついた天気が続く



小笠原気団の勢力が強まると、梅雨前線が北におし上げられると梅雨が明けて本格的な夏となる

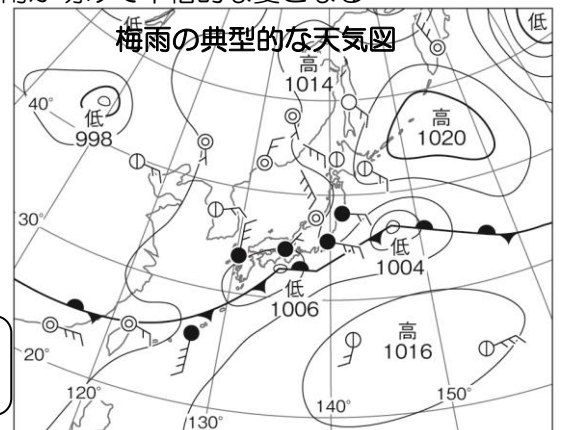


気象衛星の写真 梅雨の典型的な雲の形

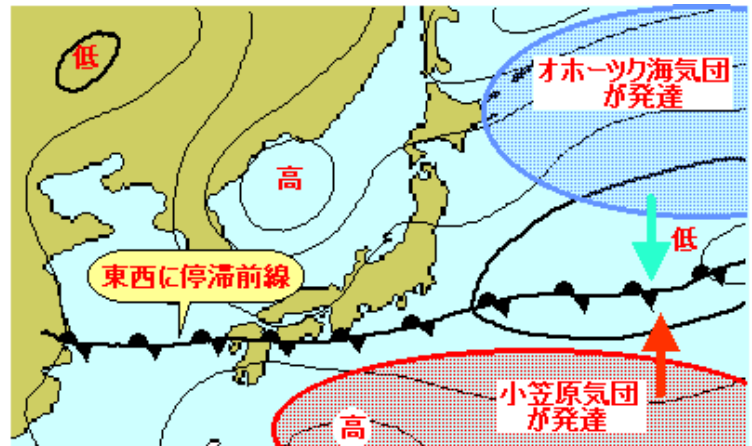


水もしたたるイイ男

梅雨くんです

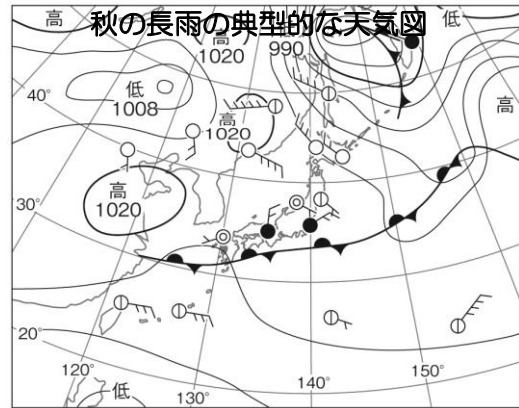


梅雨の典型的な天気図



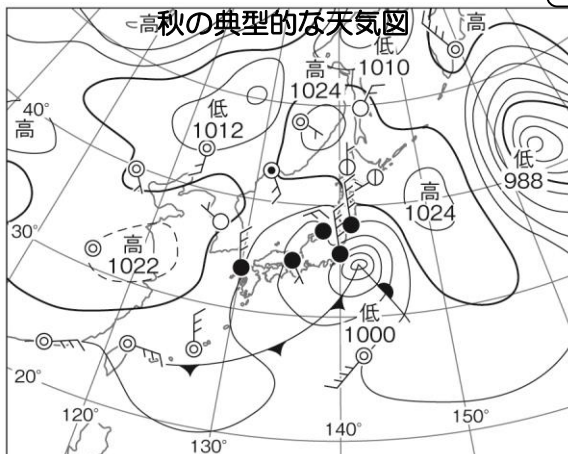
秋雨の天気の特徴

- 8月下旬を過ぎると（ ）気団）がおとろえます。
- ↓
- 北の冷たい気団と小笠原気団がほぼ同じ勢力でぶつかり合うので、梅雨と同じように東西に停滞前線が発達する。この前線を（ ）前線）という
- ↓
- 停滞前線上に小さな低気圧ができるため、梅雨のときのような雨の多いぐずついた天気が続く



秋の天気の特徴

- 10月を過ぎると大陸の気温が下がり、北の気団の勢力が発達し、前線を南下させ、秋雨が明けて本格的な秋となる
- ↓
- 偏西風に乗った移動性高気圧と低気圧が西から東へと交互に通過し、天気は周期的に変わる。
- ↓
- 11月中旬を過ぎると（ ）気団）が発達を始め、徐々に勢力を強めていきます。



日本の四季の原因は？

日本で季節のはっきりしていて天気は変化に富んでいます。この原因は日本は（ ）に位置し、大きな（ ）と（ ）の境界に位置していることと大きなかわりがある。

第37話

暑さ寒さも.....



2年 組 番 氏名